

# TECHNOLOGY FARM TIMES

VOL.4

サングリーン太陽園のグループ会社・北日本スカイテックの施設「TECHNOLOGY FARM 西の里」には、産業用無人航空機の整備場や格納庫だけでなく、施肥設計において欠かせない土壌分析ができる分析室があります。今回は土壌分析の流れや、分析可能な項目などを紹介します。



## 土壌分析室はなぜ作られたのか

サングリーングループは、昨年竣工したTECHNOLOGY FARM 西の里内に土壌分析室を設置しました。自社で土壌分析ができる環境を整えたことで、北海道の規定に基づいた分析方法・分析基準での分析がより行いやすくなりました。また、これまで以上に、北海道の土壌や地域の実情を鑑みての施肥設計が可能になりました。サングリーングループでは、分析結果と生産者からのご要望に基づき、肥料・土壌改良材・緑肥などの総合的な提案を行っています。

## 土壌分析のメリットとは

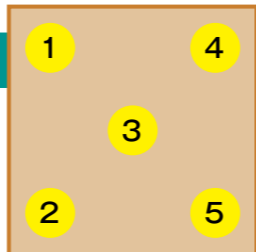
最も大きなメリットは適切な施肥量が分かることです。「いつもどおり」「なんとなく」で施肥を続けると、知らない間に肥料成分が欠乏したり、過剰になったりといった問題が起こり得ます。わかりやすく作物に異常が出る場合もありますが、肥料過多のせいで別の肥料成分が吸収しにくくなるな

より北海道の生産者の皆さまのお役に立てる企業になるべく、サングリーングループは挑戦を続けます。

ど、作物への影響が判別しにくい場合もあります。当社では生産者の皆さまへコンスタントに分析することをおすすめしています。

## 分析依頼の手順

- 1 分析項目や料金など、まずはサングリーン太陽園にお問い合わせください
- 2 分析したい圃場の土壌を採取してください
  - 1圃場につき5カ所から採取する
  - 表面に残った肥料や植物残さなどを避けるため、表面を軽く払ったところから深さ20cm程度の土を採取する
- 3 お近くの農協、またはサングリーン太陽園に連絡してください
- 4 結果を担当者がお届け



## 分析項目

pH(水)	土の酸性・アルカリ性の示す指標です。
pH(KCl)	上記のpH(水)との差によって、土中の栄養量が適正かを示す指標です。
窒素	分析する窒素の形は北海道施肥ガイドに準じています。
有効態リン酸	作物が使えるリン酸の量です。
交換性カリ	
交換性石灰	作物に使えるカリ・苦土・石灰の量です。これらはどれか1つでも多すぎると、他の吸収を妨げてしまうので、バランスを確認することが大切です。
交換性苦土	
石灰/苦土比	
苦土/カリ比	

このほか、特別項目として、CEC・腐植・ホウ素・ケイ酸・リン酸吸収係数もあります(料金別途)

## 土壌診断結果表(イメージ)

土壌診断結果表			
項目	測定値	標準値	備考
pH(水)	5.8	5.5-6.5	酸性
pH(KCl)	4.8	4.5-5.5	酸性
窒素	15	10-20	適量
リン酸	10	10-20	適量
カリ	20	10-20	適量
石灰	100	100-200	適量
苦土	50	100-200	適量
石灰/苦土比	2.0	1.0-2.0	適量
苦土/カリ比	2.5	1.0-2.0	適量



## 土壌分析についてのお問い合わせ

株式会社サングリーン太陽園 ソリューショングループ

TEL 011-892-6281

または、お近くのセンターまで

センターの詳細はこちら

<http://www.sun-green.co.jp/corporate.html>